

中学校第 3 学年

国語 B

注意

- 1 先生の合図があるまで、冊子を開かないでください。
- 2 調査問題は、1 ページから15 ページまであります。問題用紙の空いている場所は、下書きや計算などに使用しても構いません。
- 3 解答は、全て「国語 B」の解答用紙に記入してください。
- 4 解答は、HB または B の黒鉛筆（シャープペンシルも可）を使い、**濃く、はっきりと書いてください。**
- 5 解答を選択肢から選ぶ問題は、解答用紙のマーク欄を黒く塗り潰してください。
- 6 解答を記述する問題は、指示された解答欄に記入してください。解答欄からはみ出さないように書いてください。
- 7 解答用紙の解答欄は、裏にもあります。
- 8 調査時間は、45 分間です。
- 9 「国語 B」の解答用紙に、組、出席番号、性別を記入し、マーク欄を黒く塗り潰してください。

問題は、次のページから始まります。

【本の紹介カード】

自分らしさって 何だろう……

古道具屋を営む家に生まれた仲のよい
三姉妹。でも、麻子(私)は、自由奔放な
妹の七葉との違いをいつも感じています。
そのような中で少しずつ自分らしさを見付けていく麻子の
成長の物語です。



比喻を
用いた表現も
素敵です!

1

青山さんは、学校図書館で図書委員の生徒が作った【本の紹介カード】を見て、実際にその本を読んでみました。次は、そのと
きに青山さんが見た【本の紹介カード】と、青山さんが読んだ【本の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

(みやしたなつ宮下奈都『ナンバーフォースコーレNo.4』による。)

(みやしたなつ宮下奈都『ナンバードフォースコーレNo.4』による。)

(宮下奈都『スコールナンバーフォー』による。)

(宮下奈都『スコールナンバーフォー』による。)

— 【本の紹介カード】に「自由奔放な妹の七葉」とありますが、【本の一部】でその姿が具体的に表現されている箇所はどこですか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 — 線部① 「私と七葉は並んで聞いた。」
- 2 — 線部② 「ひそひそと話しあうこともあった」
- 3 — 線部③ 「水に濡らしてみようよ、と言った」
- 4 — 線部④ 「息を詰めたまま見つめていた」

二 【本の一部】の〔 〕で囲まれた部分は、「私」が誰の言った言葉を思い浮かべたものですか。【本の一部】の中から探し、抜き出しなさい。

三 青山さんは、【本の紹介カード】にある「比喩を用いた表現」に着目して【本の一部】を読み、感じたことや考えたことなどをあとの【読書の記録】に書いています。あなたなら【読書の記録】の〈心に残った一文〉と〈感想〉にどのようなことを書きましか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 〈心に残った一文〉は、【本の一部】から、比喩を用いた表現が含まれる一文を抜き出して書くこと。

条件2 〈感想〉は、条件1で取り上げた表現について、「誰（何）」の、「どのような」様子なのかを明確にした上で、あなたが感じたことや考えたことを具体的に書くこと。

※ 次のページの枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

【読書の記録】

書名 スコーレNo.4

著者名 宮下奈都

〈心に残った一文〉

〈感想〉

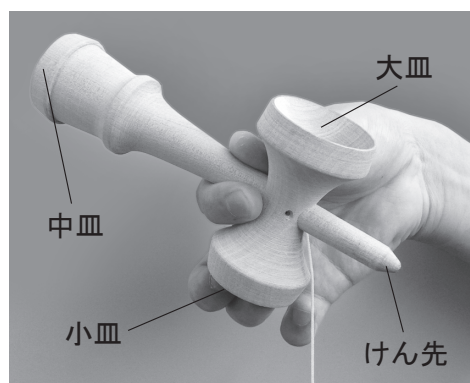
2

石井さんは、けん玉についてスピーチをします。次は、石井さんがスピーチをするために読んだ【本の一部】、リハーサルで実際に話した【スピーチ】、リハーサル後に友達からもらった【意見1】、【意見2】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。【スピーチ】の□□□□は、その箇所で〈実演〉を行うことを表します。〈実演〉は三回とも同じ動作を行います。

【本の一部】

「大皿」という技について説明します。まず、けん玉を下の図のように持ちます。次に、ひざを曲げながら、けん先を下にして手を少し下げます。続いて、ひざを伸ばしながら、下げた手を戻す勢いで玉をまっすぐに引き上げます。引き上げた玉が落ち始める寸前は、玉が一瞬静止した状態になるので、玉を捉えやすくなります。このときに玉の真下に素早く皿を持ってきて、ひざを曲げながら受け止めます。ただひざを曲げればよいということではありません。玉の動きに合わせてひざを曲げるのです。ひざの動きは「大皿」に限らず、けん玉の多くの技を行う際に重要な動きです。特に、皿で玉を受け止めるときには、皿と玉がぶつかるときの衝撃をやわらげる効果があるのです。

【図】



【スピーチ】

今日は、けん玉の「大皿」という技を取り上げて、技を上手に決めるコツについて説明します。「大皿」というのは、けん玉の一番大きな皿に玉を乗せる技です。「大皿」はこのように持って行きます。まずはどのような技なのか見てください。

〈実演〉一回目

〈実演〉



「大皿」のコツは二つあります。

一つは、引き上げた玉が落ち始める寸前に、玉の真下に素早く皿を持つてくることです。玉の動きが一瞬静止した状態になるこのタイミングだと玉を捉えやすいので、成功する確率が高くなります。では、やってみます。

〔実演〕二回目

少し難しいかもしれませんが、何度か繰り返しやっていると、徐々にタイミングがつかめるようになります。

もう一つのコツはひざをうまく動かすことです。では、ひざの動きに注意して見てください。

〔実演〕三回目

始めにひざを曲げます。そしてひざを伸ばしながら玉をまっすぐに引き上げま

す。玉を受け止めるときは、玉を受け止めるときは、今私がやったようにひざを動かすとよいです。

コツが分かったでしょうか。皆さんも、ぜひ、この二つのことに気を付けながら、「大皿」という技をやってみてください。

【意見1】

三回目の実演のときは、どこに気を付けて見ればよいのかが分かりやすかったので、二回目の実演のときも同じようにするとよいと思います。



【意見2】

「今私がやったようにひざを動かすとよいです」というところは、どのようにひざを動かすのかが分かりづらかったです。それに、なぜひざを動かすとよいのかについても説明してほしいです。



一 石井さんが〈実演〉二回目と〈実演〉三回目を行った意図として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 技が成功する実演と失敗する実演の動きの違いに気付いてもらうため。
- 2 それぞれのコツの説明を実演と照らし合わせて理解してもらうため。
- 3 説明した内容に含まれていないコツを実演によって知ってもらうため。
- 4 易しい技と難しい技を実演することで興味をもってもらうため。

二 【意見1】はどのようなことを伝えようとしていますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 実演を見るときポイントを直前に示す方が、実演の効果が高くなること。
- 2 実演を見るときポイントを実演後に何度も示す方が、実演の効果が高くなること。
- 3 実演を見るときポイントを聞き手に予想させる方が、実演の効果が高くなること。
- 4 実演を見るときポイントを示さない方が、実演の効果が高くなること。

3 松本さんの学級では、国語の時間に、様々な文学作品に興味をもつことを目的として、一人二ページを使ってそれぞれのおすすめの文学作品を紹介し合う冊子を作成しています。松本さんは、太宰治の「走れメロス」を取り上げています。次は、松本さんが読んだ資料の一部である【資料1】、【資料2】と、松本さんが書いている【下書き】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【資料1】

西暦	ことごと
一九〇九	青森県に生まれる。
一九二七	弘前高等学校に入学。尊敬していた芥川龍之介の死に衝撃を受ける。
一九三〇	東京帝国大学入学。井伏鱒二に会い、以後師事する。
一九三三	「思ひ出」発表。
一九三五	「逆行」発表。
一九三九	「富嶽百景」発表。
一九四〇	「走れメロス」発表。
一九四四	『津軽』刊行。
一九四五	『お伽草紙』刊行。
一九四七	「斜陽」発表。
一九四八	「人間失格」発表。亡くなる。

【資料2】

「待つ身が辛いかね、待たせる身が辛いかね」

太宰治は、友人である作家の檀一雄と熱海の旅館に滞在していた。二人ともお金を使い果たしてしまったので、太宰はお金を用意するため、檀を残して一人で東京へ戻っていった。ところが、いくらたっても太宰は熱海に帰ってこない。檀が東京まで探しに行くと、太宰は師である井伏鱒二の家で将棋を指していた。このとき、激怒する檀に向かって太宰が言ったのが、「待つ身が辛いかね、待たせる身が辛いかね」という言葉である。

檀は、この出来事が「走れメロス」の執筆に関係しているのではと述べている。

私のおすすめ「走れメロス」

私が選んだ 「走れメロス」の中の表現

- ・ メロスは激怒した。
 - ・ 途中で倒れるのは、はじめから何もしないのと同じ事だ。
 - ・ 「私は、なんだか、もっと恐ろしく大きいものために走っているのだ。」
 - ・ 「信実とは、決して空虚な妄想ではなかった。どうか、わしをも仲間に入れてくれまいか。」
 - ・ 勇者は、ひどく赤面した。
- (太宰治「走れメロス」○○社、△△△△年)

「走れメロス」を読んで、印象に残る表現を探してみよう。

「走れメロス」の作者 太宰治

太宰治の写真

太宰治は青森県に生まれた。「思ひ出」や「逆行」、「富嶽百景」などの作品を書き、一九四〇年には「走れメロス」を発表した。その後は、「斜陽」、「人間失格」などの作品を書いた。

また、芥川龍之介、井伏鱒二、檀一雄と関係がある。「走れメロス」と、太宰の他の作品や関係がある作家の作品とを読み比べてみても面白いかもしれない。

「走れメロス」を 他の人たちはこのように読んだ

(◇◇◇◇訳「人質 譚詩」□□社、××××年)

(小栗孝則訳「人質 譚詩」による。)

「走れメロス」は、ドイツの詩人であるシラーの「人質」という詩をもとに書かれたと言われている。二つの作品を実際に読んで確かめてみよう。
〈「人質」(翻訳)の冒頭〉

一 【下書き】についての説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 作品に興味をもってもらうために、作品の中の表現や内容には一切触れずに書いている。
- 2 作品に興味をもってもらうために、作者についての情報に絞って紹介している。
- 3 作品に興味をもってもらうために、場面の展開や全ての登場人物について詳しく説明している。
- 4 作品に興味をもってもらうために、作品に関する情報を様々な角度から示している。

二 松本さんは、【下書き】にある『走れメロス』の作者 太宰治」の で囲まれた部分を、【資料1】と【資料2】を参考にして書き直すことにしました。書き直したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 井伏鱒二を師としていた。友人に芥川龍之介、檀一雄がいる。
- 2 檀一雄を師としていた。友人に井伏鱒二、芥川龍之介がいる。
- 3 芥川龍之介を尊敬していた。師は井伏鱒二。友人に檀一雄がいる。
- 4 檀一雄を尊敬していた。師は芥川龍之介。友人に井伏鱒二がいる。

三 松本さんは、『走れメロス』を他の人たちはこのように読んだ」の部分を書くためのアンケートを作成しています。あなたなら、作品に興味をもってもらえる内容を書くためにどのようなアンケートをとりますか。また、そのように考えたのはなぜですか。次のア、イ、ウについて、それぞれの指示にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

ア どのような人たちを対象としてアンケートをとるのかを書きなさい。

イ アのうち、『走れメロス』を読んだことがある」と答えた人に、どのような質問をするのかを書きなさい。

ウ イの質問についての回答をもとにした内容載せることで作品に興味をもってもらえると考えた理由を書きなさい。

※ 次のページの枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

ウ
理由

--

イ
質問

--

ア
対象

--

これで、国語Bの問題は終わりです。

